

### ★RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 6573 Nov. 01 2013

Copyright (c) 2013 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

--Tokyo, 20:00 JST

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

#### ◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22)公表のお知らせ

リム情報開発株式会社は、新たに「リムエネルギー総合指数22種(レックス22)」を10月15日(火)に公表しました。これは、物価や景気動向に大きな影響を与えるエネルギー商品に着目した指数です。

当社が日々アセスメントし、公表している石油製品・LPG・LNG・石油化学製品など、エネルギー市場の価格を総合的に表すものです。同指数は「石油製品やLPGなどの国内企業間取引価格」、「石油製品、ベンゼン、LPG、LNG等の日本着の輸入価格」、「ベンゼン、石油製品などの日本積み輸出価格」から構成・算出されます。日本銀行が発表している企業物価指数や内閣府が公表している景気動向指数とも相関関係が非常に高くなっています。

「レックス22」は当社ホームページ上で日々公表します。前営業日分は当社休業日を除く翌日正午、月間平均値については翌月第5営業日までに更新または公表する予定です。

#### 【本指数に関するお問い合わせ先】

リム情報開発株式会社 営業企画班

電話: 03-3552-2411 E-mail: info@rim-intelligence.co.jp

#### ◎子会社設立に関するお知らせ

リム情報開発株式会社は9月26日、当社100%出資子会社「リム イノベーション&ソリューションズ株式会社」(Rim Innovation & Solutions Company = RISCO)を設立いたしました。同社はリム情報開発の販売代理店として、リムレポートの販売代行のほか、石油などエネルギー市場に関する各種セミナーの開催、データ作成、市場分析などの依頼に応えます。また、顧客のニーズに応じ、リムの各レポートをベースにしたカスタマイズレポートの発行も手がけます。

◎本日のレックス-22は、前日比0.74高の150.08です。

【リムレポートサンプル】 ※レポート名をクリックすると、各レポートの見本にジャンプします。

サンプルは本日付けではございません。あらかじめご了承ください。

[原油・コンデンセート](#) [Bunker](#) [LPG](#) [LNG](#) [アジア石油製品](#) [ローリーラック](#)  
[石油化学](#)

[RIM Data File](#) [石油化学データ](#) [中国語版ウェブサイト](#)

No.6573 Nov. 01 2013

**◎国内石油製品海上バージスポット市場（製油所・油槽所バージ取り・円/kl）**

東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 74,300~ 74,700-	74,500	-1,000	-700/-300
灯油	- 79,800~ 80,200-	80,000	-500	-200/0
軽油0.001%S	- 82,700~ 83,200-	82,950	-150	0/+200
A重油1.0%S	- 78,200~ 78,600-	78,400	-200	0/+400
LSA重油0.1%S	+ 77,900~ 78,400+	78,150	+100	-300/+200
LSC重油0.3%S	- 71,000~ 72,000-	71,500	-200	0/+200
HSC重油3.0%S	- 64,100~ 65,100-	64,600	-200	+400/+700

西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動
ガソリン	- 75,000~ 75,300-	75,150	-650	-300/-100
灯油	- 79,000~ 79,500-	79,250	-400	+100/+300
軽油0.001%S	- 85,000~ 85,600-	85,300	-800	-150/+400
A重油1.0%S	77,900~ 78,300-	78,100	-100	-300/+100
LSA重油0.1%S	+ 78,000~ 78,500+	78,250	+200	-200/+300
LSC重油0.3%S	- 71,000~ 72,000-	71,500	-200	0/+200
HSC重油3.0%S	- 62,800~ 63,800-	63,300	-200	+400/+700

市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース

**◎国内石油製品ペーパースワップアセスメント（東京湾製油所バージ取り・円/kl）**

	11月	12月	1月
ガソリン	- 75,000~ 75,500-	- 75,400~ 75,900-	- 74,500~ 75,000-
灯油	- 80,000~ 80,600-	- 80,800~ 81,200-	- 80,800~ 81,200-
軽油0.001%S	+ 81,500~ 82,500+	+ 79,500~ 80,100+	+ 79,500~ 80,100+
A重油1.0%S	+ 78,000~ 78,300+	+ 77,800~ 78,400+	+ 77,800~ 78,400+
LSA重油0.1%S	+ 78,000~ 78,300+	+ 78,000~ 78,600+	+ 78,000~ 78,600+
LSC重油0.3%S	- 71,200~ 72,200-	- 71,200~ 72,200-	- 71,200~ 72,200-
HSC重油3.0%S	- 64,300~ 65,300-	- 64,300~ 65,300-	- 64,300~ 65,300-

**◎東京商品取引所石油先物（東京湾製油所・油槽所バージ取り・円/kl）**

ガソリン	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
12月限	75,120	75,120	74,600	74,910	-540	66
1月限	74,200	74,200	73,710	74,060	-360	77
2月限	74,300	74,300	73,720	74,100	-340	150
3月限	75,370	75,370	74,740	75,130	-430	237
4月限	75,550	75,610	74,940	75,350	-440	698
5月限	75,800	75,900	75,130	75,570	-480	3,591
合計	4,819					
灯油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
12月限	80,590	80,670	80,220	80,500	-310	569
1月限	80,570	80,670	80,210	80,520	-250	143
2月限	80,290	80,290	79,720	80,180	-210	199
3月限	78,590	78,630	78,110	78,500	-210	243
4月限	76,510	76,640	76,050	76,480	-260	738
5月限	75,950	76,100	75,500	75,960	-230	1,323
合計	3,215					

軽油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
12月限	82,000	82,000	82,000	82,000	+1,200	1
1月限	-	-	-	86,980	+1,200	-
2月限	-	-	-	82,660	+1,200	-
3月限	-	-	-	81,780	+1,200	-
4月限	-	-	-	79,990	+240	-
5月限	-	-	-	79,700	-50	-

合計 1

原油	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
11月限	65,860	65,950	65,690	65,910	-110	39
12月限	64,900	64,940	64,640	64,920	-210	35
1月限	64,490	64,540	64,270	64,490	-180	51
2月限	64,270	64,280	63,970	64,220	-170	110
3月限	63,960	64,010	63,700	63,950	-170	804
4月限	63,780	63,780	63,450	63,710	-	1,242

合計 2,281

 取組高：ガソリン＝ 21,185 灯油＝ 21,797 軽油＝ 21 原油＝ 18,130  
 1枚＝50kl

**◎東京湾製油所出し陸上スポット価格（千葉・川崎平均値 円/kl）**

ガソリン	77,050	-100	灯油	80,250	+200
軽油0.001%S	80,150	+250	A重油1.0%S	78,500	unch.
LSA重油0.1%S	78,600	unch.			

**◎原油輸入平均CIF価格（JCC 円/kl・財務省発表）**

13/08/01-31	66,350r	13/09/01-30	68,968	13/10/01-31	11月20日発表予定
13/08/01-10	66,800	13/09/01-10	68,079	13/10/01-10	70,233
13/08/11-20	66,300	13/09/11-20	69,145	13/10/11-20	11月8日発表予定
13/08/21-31	65,851	13/09/21-30	69,785	13/10/21-31	11月20日発表予定

r＝修正値

**◎MR船型の日本着輸入価格（ナフサ・重油 円/トン その他 円/kl）**

	スポット価格	円/kl	プレミアム
ナフサ	+ 939.00～948.25	+ 65,545	15.25/ 16.25
ジェット/灯油	+ 126.10～126.30	+ 78,769	2.30/ 2.50
軽油 0.001%S	+ 127.45～127.55	+ 79,580	3.45/ 3.55
LSWR 0.2%S	- 104.50～104.60	- 65,256	3.75/ 4.75*
重油 380cst 3.5%	- 618.00～619.00	- 58,919	12.00/ 13.00
重油 0.3%S	- 745.00～755.00	- 71,446	130.00/140.00

円ドル換算レート（TTS 円/ドル 11月1日現在） 99.23 \*プルタミナフォーミュラに対するプレミアム

**◎MR船型の日本積み輸出価格（重油 円/トン その他 円/kl）**

	スポット価格	円/kl	プレミアム
ジェット/灯油	+ 124.00～124.10	+ 76,646	0.20/ 0.30
米西海岸向け軽油	+ 125.45～125.55	+ 77,542	1.45/ 1.55
軽油 0.001%S	+ 125.15～125.25	+ 77,357	1.15/ 1.25
重油 380cst 3.5%S	- 601.00～604.00	- 57,704	-5.00/ -2.00

円ドル換算レート（TTM 円/ドル 11月1日現在） 98.23 還付金の2,290円を含まない

**◎MR船型のシンガポール積み輸出価格（重油 ドル/トン その他 ドル/バレル）**

	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 103.90~104.00 +	0.70/ 0.80
ジェット/灯油	+ 124.50~124.60 +	0.70/ 0.80
軽油 0.001%S	+ 126.70~126.80 +	2.70/ 2.80
軽油 0.05%S	+ 124.60~124.70 +	0.60/ 0.70
軽油 0.5%S	+ 123.90~124.00 +	-0.10/ 0.00
重油 180cst 3.5%S	- 618.00~619.00 -	3.00/ 4.00

**◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格（ドル/バレル）**

	スポット価格	プレミアム
0.35%LSWR	-100.75~100.85 -	0.00/ 1.00*
ExpectedPPF	-100.25~100.35 -	

\*ブルタミナフォーミュラ (PPF) に対するプレミアム

**◎シンガポール・ペーパーズワップ（重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル）**

	11月	12月	1月
ナフサ	+ 103.15~103.25 +	- 102.25~102.35 -	- 101.60~101.70 -
ジェット	+ 123.75~123.85 +	+ 123.15~123.25 +	+ 122.70~122.80 +
ジェット/軽油格差	- 0.25/ -0.15 -	- 0.25/ 0.35 -	- 0.30/ 0.40 -
0.05%S軽油	+ 123.95~124.05 +	+ 122.85~122.95 +	+ 122.35~122.45 +
180cst 3.5%S重油	- 614.75~615.25 -	- 607.75~608.25 -	- 604.75~605.25 -
380cst 3.5%S重油	- 605.75~606.25 -	- 599.75~600.25 -	- 596.75~597.25 -

**◎シンガポール精製マージン（対ドバイ原油・ドル/バレル）**

	11月	12月	1月
ナフサ	-3.74	-3.04	-2.86
ジェット	16.86	17.86	18.24
軽油	17.06	17.56	17.89
180cst重油	-12.32	-11.80	-11.43
380cst重油	-13.71	-13.03	-12.66

**◎韓国出しSR船型輸入採算価格(関税・石油石炭税込み 円/kl)**

荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		A重油	
北海道	76,188	+13	83,121	-102	83,931	+210	79,330	+183
京浜	76,001	+14	82,934	-101	83,743	+210	79,143	+183
中京	75,813	+14	82,747	-100	83,556	+211	78,956	+184
関門	75,564	+15	82,497	-100	83,307	+212	78,706	+185

**◎アジア・バンカー価格（ドル/mt・届けベース）**

	180cst	280cst	380cst	MDO
東京湾	646.00-649.00	644.00-647.00	637.00-640.00	935.00- 945.00
西日本	650.00-653.00	648.00-651.00	640.00-643.00	935.00- 945.00
伊勢湾	649.00-652.00	647.00-650.00	639.00-642.00	935.00- 945.00
韓国	661.00-664.00	649.00-661.00	-634.00-637.00-	935.00- 945.00
シンガポール	-622.00-624.00-	-620.00-621.00-	-610.00-613.00-	920.00- 930.00-

## ◎マーケットコメント

## 元売り市中調達

トッパー停止数・5基 計44万6,000B/D 停止率

1日の確認成約量は計2,000kl。すべて民族系最大手元売りが買付けたもので、買値はA重油の京浜渡し500klが78,600円、大西渡し500klが78,300円、同じく大西渡しLSA重油500klが78,500円となった。売り手は商社系ディーラーと広域ディーラー2社。中間留分のバランス調整として、割安な玉を手当てを優先している。

その他の元売りは総じて様子見。民族系大手元売りは相対的に割安な陸上軽油の市中調達を進めている。

## ガソリン 京浜・前日比1,000円安の74,300～74,700円 西日本・前日比650円安の75,000～75,300円

【概況】急反落。先物安に加え、夕刻にかけて米メジャー系大手元売りの陸上外販中途改定の情報が流れたため、手持ち筋の狼狽売りも散発した。市況連動は京浜が月間平均レス300～700円、西日本がレス100～300円。元売り関連では、JX日鉱日石エネルギーの7～9月ガソリン販売量は、前年比0.6%減の512万klだった。内訳は、ハイオクが4.5%減の63万kl、レギュラーが0.2%増の448万kl。

【京浜渡し】JOF市場で500klが74,500円で成約。追加成約はなく、セッション終了時には、74,500円(500kl)のビッドに対し、75,100～75,200円(500kl×9)のオファーが提示されていた。OTC市場では、三連休を前に様子見ムード。ただ、米メジャー系大手元売りが陸上外販価格を中途下げ改定に踏み切ったとの情報が流れると、夕刻にかけて手持ち筋からの売り圧力が強まり、少なくともディーラー間で500klが74,300円で成約されたほか、別に74,000円前半も売り打診も散見された。一方、この日は元売り向けの商談、成約は浮上せず。

市況連動商談商談では、JOF市場でビッド不在のなか、月間平均レス100～200円のオファーが複数散見。OTC市場では500klが月間平均レス600円で取引された。この日のペーパーズワップ価格から算定される月間平均フラットの固定換算値は75,250円に相当する。

【西日本渡し】JOF市場では、大西渡しで74,500円(500kl)のビッドに対し、75,200～75,300円(500kl×3)のオファーが提示。セッション終了間際に阪神渡しで75,500円(200kl)のビッドが提示され、買い気がアピールされたものの、市場は冷静だった。OTC市場では、広域および地場ディーラーから陸揚げ見合いの買い気も見られず、市場は極めて閑散。陸上市場の先行き不透明感もあり、動意付くのは「三連休後の動向を見てから」(広域ディーラー)。

市況連動商談はJOF・OTC市場ともに総じてアイデアベースに終始。JOF市場の大西渡しで月間平均フラット(500kl)のオファーが提示されたものの、カウンタービッドはなかった。

【SR船輸入コスト試算値】「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

## 灯油 京浜・前日比500円安の79,800～80,200円 西日本・前日比400円安の79,000～79,500円

【概況】反落。先物安に連動した。また、月変わりを迎えたばかりで目立った買い気もなく、総じて様子見姿勢が強かった。市況連動相場は、京浜が月間平均フラット～レス200円。西日本が月間平均プラス100円～プラス300円と、東西で小幅ながらプレミアムが削られた。

気象庁の週間予報によると、11月8日の札幌は最低気温が4度、最高が10度で曇り、東京は最低気温12度、大阪の最低気温は12度の予報。元売り関連では、JX日鉱日石エネルギーが7～9月に販売した灯油は、前年比6.7%減の70万klにとどまった。

【京浜渡し】JOF市場では500klが2件、80,000円で成約された。一件はキグナス玉指定。午後3時30分時点で79,500～79,900円で5件(計2,300kl)のビッドに対し、オファーは80,300～80,800円で3件(計1,500kl)が並

んだ。OTC市場では、インターディーラー商談で500klが80,000円で買われた。先物に対してコンタンゴ(順ザヤ)にあることから、買い手も同水準までは許容できる価格。また、10月は配船難のため北への転送が遅れている向きもいるため、潜在的な買い気は強いという。

市況連動商談は、JOF市場の成約はなく、最終的には月間平均レス300円のビッドが3件(計1500kl)、オファーは月間平均プラス50~200円の4件(2500kl)が並んだ。月初の段階にあるため、売り手は小幅ながらもプレミアムを要求する。OTC市場でも同様に、オファーは月間平均プラス100円とプレミアム付のナンバーが聞かれた。

**【西日本渡し】**JOF市場での成約はなかった。最終的には阪神渡しのビッドが78,800円(500kl)の1件のみ。オファーは80,500円(1,000kl)とかい離が激しい。大西渡しは79,000円(500kl)のビッドに対して、オファーは79,500円(200kl)と数量面で噛み合わない。OTC市場では、陸揚げを考えれば78,000円台後半のビッドは聞かれるが、月始めで売り手にも余裕の姿勢で、売り込むところはみられない。

市況連動商談は、大西渡しに月間平均プラス100円が2件のビッドが提示されたが、オファーはプラス400円(1,000kl)の1件だけ。折り合いのないままセッションを終えた。ブローカー軽油で大西渡しに月間平均プラス100円(500kl)の売唱えが出たものの、具体的な買いは見当たらなかった。

**【韓国出しSR船輸入コスト試算値】**「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

**軽油 京浜・前日比150円安の82,700~83,200円 西日本・前日比800円安の85,000~85,600円**

**【概況】**反落。月替わり後の商談は売買双方の手探り。東西ともにポジションがリセットされるなどして、取引水準は下押ししてスタートした。市況連動商談もプレミアムは後退。京浜がフラット~プラス200円、西日本がレス150円~プラス400円。元売り関連では、JX日鉱日石エネルギーが7~9月に販売した軽油は、前年比3.8%増の331万klに達した。輸出も9.9%増の330万klを確保。

**【東西渡し】**JOF市場では東西ともに成約はなかった。セッション時間内のビッドは不在。オファーは京浜渡し500kl×3が82,700~83,200円のレンジで並んだ。西日本は阪神渡し500klが85,500円。大西渡し500kl×3が84,000円、85,200円、86,000円と売り姿勢に温度差も目立った。OTC市場もディーラー間、元売り向けの商談も含め、動意はなかった。

市況連動相場は、JOF市場で京浜渡しのビッド/オファーは前日に続き不在。一方、西日本でのビッドは、阪神渡し1,000klがレス200円、大西渡し1,000klがレス100円で並んだ。対するオファーは阪神渡しが不在。大西渡し1,000klがプラス500円だけだった。OTC市場はアイデアベースに終始。買いアイデアはなかったが、売りアイデアでは京浜では月間平均に対しフラット、もしくはプレミアム。西日本はプレミアムが付くが、具体案を提示するプレーヤーはいなかった。

**【SR船輸入コスト試算値】**「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

**【訂正】**31日付け文中、EMGマーケティングの2日からの陸上外販価格に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。(誤)500円引き上げ→(正)1,000円引き上げ

**A重油 京浜・前日比200円安の78,200~78,600円 西日本・前日比100円安の77,900~78,300円**

**【概況】**東西ともに下落。原油相場の軟化を映した。市況連動は京浜で月間平均フラット~プラス400円、西日本でレス300円~プラス100円。JX日鉱日石エネルギーの7~9月A重油販売量は、前年比7.5%減の124万klにとどまった。

**【東西渡し】**京浜渡しのJOF市場では、セッション終了時に78,400円(200kl)のオファーに対し、76,900円(200kl)のビッドが返されたものの、成約にはいたらなかった。OTC市場では、民族系最大手元売りがこの日も調達した。数量500klが78,600円で、売り手は商社系ディーラーだった。原油処理の不足をカバーする目的で買い付け。市況連動商談は月間平均フラット(500kl)およびプラス150円(200kl)のオファーが提示された

ものの、カウンタービッドは皆無。

西日本では、JOF市場のセッション終了時に阪神渡しで79,000円(300kl)のオファーが提示されたものの、買い手はつかない。先行きの見通しが立たず様子見に退くプレイヤーが多かった。OTC市場では民族系最大手元売りが2日連続となる買い付けに動いた。広域ディーラーから大西渡し500klを78,300円で手当てした。市況連動商談では、アイデアベースのやりとりもなかった。

**【SR船輸入コスト試算値】**「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

**LSA重油 京浜・前日比100円高の77,900～78,400円 西日本・前日比200円高の78,000～78,500円**

**【概況】**東西ともに小幅上昇。原油は軟化したものの、民族系最大手元売りを含めた旺盛な買い意欲に底上げされた。市況連動は京浜で月間平均レス300円～プラス200円、西日本ではレス200円～プラス300円にそれぞれ移行した。

**【東西渡し】**京浜渡しのJOF市場ではセッション終了時に78,400円(200kl)のオファーに対し、76,500円(300kl)のビッドが寄せられたものの、成約にいたらず。OTC市場でも模様眺めムード。市況連動商談を含め、打診ベースのやりとりもなかった。

西日本では、JOF市場の午後3時30分時点で寄せられたナンバーは阪神渡しの79,300円(300kl)のみ。カウンタービッドは皆無。OTC市場では民族系最大手元売りによる成約ができた。大西渡し500klが78,500円で広域ディーラーから買い付けた。在庫調整の調達。またディーラー間でも78,500円で200klが成約。阪神渡しだった。市況連動商談でも成約が1件浮上。ディーラー間で200klが月間平均レス400円で取引された。ペーパースワップの価格をベースに固定値に換算すると約77,800円に相当する。

**【SR船輸入コスト試算値】**「韓国出しSR船型の輸入採算価格」をご参照ください。

**LSC重油 京浜・前日比200円安の71,000～72,000円 西日本・前日比200円安の71,000～72,000円**

JX日鉱日石エネルギーの7～9月電力向けC重油販売量は、前年比31.6%減の200万klにとどまった。

**【税込み輸入採算価格】**インドネシア出しが67,795円、韓国出しが73,985円となり、平均価格は前日比1,098円安の70,890円。

**HSC重油 京浜・前日比200円安の64,100～65,100円 西日本・前日比200円安の62,800～63,800円**

**【概況】**東西とも小反落。原油輸入コストの低下を受け、気配値が切り下がった。東西ともに商談はまだ盛り上がりがない。月代わり直後という時期的な要因から、市場関係者の多くは事務処理に追われていたことも影響している。本格的な11月商戦入りは連休明けに持越し。元売り関連では、JX日鉱日石エネルギーの7～9月一般向けC重油販売量は、前年比21.9%減の57万klにとどまった。

**【京浜渡し】**小反落。原油市況の下落が影響した。市場関係者の多くは今後の動向を見極めることに注力しており、積極的な売り込みには踏み込んでいない。10月の船舶の航行が低迷したことの反動がどのように11月市況に現れるかが関心事。

**【西日本渡し】**反落。京浜と同様に、商談は盛り上がり欠けている。固定価格でのアイデアなどはJOF市場、OTC市場のいずれも明確な提示は見当たらない。ただ、11月入りしたことで、買い手からの引き合いが入り始めている。

**【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】**京浜の180cstベースで前日比174円安の62,560円。

**【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】**前日比333円安の59,994円。

**スワップ取引・東商取概況**
**スワップアセスメントの基準ナンバーは午後3時～4時**

【スワップ取引11月限】ガソリンは、75,000～75,500円と前日を850円下回った。灯油は、80,000～80,600円と、前日比150円安に軟化。3,000klが2件、80,000円と80,300円で成約された。軽油は、81,500～82,500円と前日比500円高に反発。A重油およびLSA重油は、78,000～78,300円と同値に並んだ。元売りが現物の調達を進めていることから、地合いは堅調だ。

【東商取概況】1日の東商取石油先物市場・日中取引は下落。軟調な原油相場に加え、ガソリンは現物スポット相場の軟化を受け売り圧力が強まった。ガソリン売り・原油買いの取引が進展し、クラックスプレッドは縮小した。灯油もガソリンの弱含みにつられる格好で下げ足を早めた。こうしたなかインターマンスでの取引が活発に行われ、当限の出来高は569枚(28,450kl)まで膨らんだ。

**◎国内石油製品海上JOF・OTC成約**
**JOF成約は午後3時～3時30分に限定**

油種	場所	対象	数量	成約値	条件
ガソリン	京浜	JOF	500	74,500	製油所
ガソリン	京浜	OTC	500	74,300	
ガソリン	京浜	OTC	500	市況-600	
灯油	京浜	JOF	500	80,000	製油所
灯油	京浜	JOF	500	80,000	KYG
灯油	京浜	OTC	500	79,800	製油所
A重油	京浜	OTC	500	78,600	
A重油	大西	OTC	500	78,300	
L S A重油	大西	OTC	500	78,500	

**◎ペーパーズワップ成約**
**JOF市場は午後3時～4時に限定**

油種	場所	対象	数量	成約値	条件
灯油	京浜	OTC	3,000	80,000	
灯油	京浜	OTC	3,000	80,300	

**マーケットニュース**
**○EMGM=2日からの系列仕切り価格、ガソリンは現行比1.0円の下げ**

EMGマーケティングは2日以降出荷分に適用するガソリンの系列SS向け仕切り価格を現行比でリットルあたり1.0円引き下げる。複数の代理店筋が1日、明らかにした。一方、軽油は据え置く。EMGマーケティングは10月26日～11月1日出荷分の系列仕切りについて、10月19日に比べ、ガソリンは2.5円、軽油は0.5円それぞれ引き下げている。

**○総務省=10月末の軽油元売り数、前月から変わらず**

総務省税務局都道府県税課が1日明らかにした10月末時点での指定軽油元売り数は、9月末時点から変更はなく、計26社で変わらず。内訳は製造元売り11社、販売元売り11社、輸入元売り4社。

**○東商取=中東産原油10月限の最終決済価格、前月比2,000円安**

東京商品取引所は1日、中東産原油市場10月限の最終決済価格は前月9月限を2,000円下回る65,660円になったと発表した。



## ○JX日鉱日石エネ＝7～9月のRG販売量は前年比0.2%増、軽油も3.8%増

JX日鉱日石エネルギーの7～9月販売実績を見ると、レギュラーガソリンは448万klとなり、前年同期の447万klを小幅ながら上回った。もっとも、4～6月は天候に恵まれ、行楽需要増で前年を2.8%上回っていたため、夏の需要期は伸び悩んだ。

軽油は331万klに達し、前年を3.8%上回った。グループ化した大手フリート会社の存在が大きいほか、景気回復も背景にあるようだ。国交省かまとめたトラック輸送情報によると、全国の一般貨物トラック事業者の輸送量は、7月が前年を5.2%、8月は1.6%それぞれ上回っている。9月分は未発表。輸出も採算の改善が図られ、計310万klに達し、前年を9.9%上回った。国内需給の引き締めも含め、積極的に展開した格好だ。一方、A・C重油は前年割れ。とくにC重油は電力向けが石炭火力発電所の稼働増を受け、前年比31.6%減の143万klまで落ち込んだ。

## ○出光興産＝10月の系列向け卸価格、ガソリンは全国平均で9月比2.1円の下げ

出光興産が1日発表した10月出荷分のガソリンの卸価格の改定幅は、全国平均で前月比リットル当たり2.1円の引き下げとなった。一方、軽油は2.3円、灯油は1.1円、A重油は2.2円のそれぞれ値上げ。

出光興産は週ごとに仕切り価格を改定しており、上記の月間改定幅は週ごとの日数加重平均で算出されている。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411メール:info@rim-intelligence.co.jp rim@gol.com YahooメッセージID: rim\_japan\_report

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソッドロジー

リンク先:<https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/20110526.pdf>

◇RIMジャパン製品レポートの転送は著作権法により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をういて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。**著作権違反が発覚した場合は法的手段を講じたうえで、罰金を請求します。**

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み

--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717